

【九州高校レスリング】 フリースタイルジュニア 96キロ級 優勝

本田(第1) 96キロ級頂点

宮工の荒殿84キロ級準V 男子

九州高校レスリング
第1日
レスリングの第26回ひむか杯九州選手権兼2016年JOCジュニア



【ジュニアフリースタイル96キロ級・リーグ戦】宮崎日大の松澤大樹(右)と対戦する宮崎第一の本田瑛之

平成 27 年 12 月 24 日 (木)、第 26 回ひむか杯高校九州選手権兼ジュニアオリンピック九州予選が行われ、フリースタイルジュニア 96キロ級に出場した本校の本田瑛之君(文理科 2 年:加久藤中学校出身)が優勝しました。

優勝までの 4 試合で相手に許したポイントはわずか 1 点。完璧な試合運びで頂点を勝ち取りました。文理科に在籍する本田君は、日頃より文武両道を実践し、限られた練習時間は集中力を高めて取り組んでいます。

来年春の全国選抜大会、集大成となる高校総体、インターハイに向けて期待が高まります。

今後も文武両道を実践し、目標に向けて活躍することを期待しています。



アオリニック九州予選は24日、宮崎市の県総合青少年センター体育館で開幕した。第1日は、フリースタイルのジュニア(高校2年)、カデット

(高校1、2年)の部を推葉桂己(宮崎農)が行い、県勢は、ジュニアの96キロ級で本田瑛之(宮崎第一)が頂点。84キロ級の荒殿竜一(宮崎工)が準優勝だった。

第2日は、カデットのグレコローマンスタイル女子を行う。ジュニアの1位、カデット(フリースタイルとグレコローマンスタイルの合計)1位が、来年4月に神奈川県で行われる本大会に出場する。(那須友紀)

▽同63キロ級③坂元侘太(宮崎工)
▽フリースタイルジュニア55キロ級③黒木大翔(福島)
▽同69キロ級③長谷川健士朗(宮崎第一)

▽同84キロ級③荒殿竜一(宮崎工)
▽池田昂世(宮崎日大)
▽同96キロ級①本田瑛之(宮崎第一)
③松澤大樹(宮崎日大)
▽同120キロ級③岩本真(宮崎農)

宮崎工・荒殿竜一(ジュニア84キロ級準優勝)「決勝の舞台に立てたがまだまだ力不足だった。筋力を付け、がぶりや投げの練習に取り組みたい」

力見せつける 本田

○:ジュニアのフリースタイル96キロ級に出場した本田瑛之(宮崎第一)が、5人総当たりのリーグ戦を4戦全勝し、力を

見せつけた。初戦は、ことしのグレコローマンスタイル85キロ級全国王者で、階級を上げて臨んだ松澤大樹(宮崎日大)。

宮崎日大)。練習をともにしたこともあり、手の内を知った相手に「絶対に負けたくない」と気持ちが高まった。

第1ピリオド。左足で相手の足を刈って倒すところから背後に回り、ローリングで得点。主導権を握って優勢に試合を進め、第2ピリオド終了間際、テクニカルフォール勝ちを収めた。4試合で相手に許したのはわずか1点。全国選抜、国体の96キロ級で3位の実力者は「目標は来年の選抜大会。練習で足りない部分を補っていきたい」と先を見据えた。